

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 5 日 (2007.7.5)

【公開番号】特開 2005-346141 (P2005-346141A)
 【公開日】平成 17 年 12 月 15 日 (2005.12.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-049
 【出願番号】特願 2004-161589 (P2004-161589)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/50 (2006.01)

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/50 6 1 2 H

G 0 6 F 17/50 6 8 0 Z

G 0 3 G 15/16 1 0 3

G 0 3 G 21/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 21 日 (2007.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

読み書き可能な記憶手段を有する情報処理装置において導電率の電界依存性を有する装置の電位分布を解析する解析方法であって、

前記装置のシミュレーションモデルをメッシュ分割し、該分割して得られたデータを前記記憶手段に格納する分割ステップと、

前記分割ステップにおいて分割された各要素における電界強度および前記電界強度に対応する導電率に基づいて、各要素の電位を算出し、該算出した電位を前記記憶手段に格納する算出ステップとを有することを特徴とする解析方法。

【請求項 2】

請求項 1 において、前記算出ステップにおいて、前記シミュレーションモデルの誘電率の分布に基づいて、前記各要素の電位が算出されることを特徴とする解析方法。

【請求項 3】

請求項 1 において、前記分割ステップにおいて、電荷を有する前記装置のシミュレーションモデルの表面の法線方向に垂直な面で分割することを特徴とする解析方法。

【請求項 4】

請求項 1 ないし請求項 3 の解析方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 5】

導電率の電界依存性を有する装置の電位分布を解析する情報処理装置において、

前記装置のシミュレーションモデルをメッシュ分割し、該分割して得られた各要素における電界強度および前記電界強度に対応する導電率に基づいて、各要素の電位を算出する算出手段と、

前記制御手段によって算出された電位を格納する記憶手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 6】

請求項 5 において、前記算出手段は、さらに前記シミュレーションモデルの誘電率の分布を算出し、さらに前記算出された誘電率に基づいて前記各要素の電位を算出することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】

請求項 5 において、前記算出手段は、電荷を有する前記装置のシミュレーションモデルの表面の法線方向に垂直な面で分割することを特徴とする情報処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

上述した目的を達成するために、読み書き可能な記憶手段を有する情報処理装置において導電率の電界依存性を有する装置の電位分布を解析する解析方法であって、

前記装置のシミュレーションモデルをメッシュ分割し、該分割して得られたデータを前記記憶手段に格納する分割ステップと、

前記分割ステップにおいて分割された各要素における電界強度および前記電界強度に対応する導電率に基づいて、各要素の電位を算出し、該算出した電位を前記記憶手段に格納する算出ステップとを有することを特徴とする解析方法を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、導電率の電界依存性を有する装置の電位分布を解析する情報処理装置において、前記装置のシミュレーションモデルをメッシュ分割し、該分割して得られた各要素における電界強度および前記電界強度に対応する導電率に基づいて、各要素の電位を算出する算出手段と、前記制御手段によって算出された電位を格納する記憶手段とを有することを特徴とする情報処理装置を提供することにある。